

かがやき

発行／久美の浜福祉会 かがやきの杜
あおぞら(生活介護・相談支援・短期入所)
つばさ(就労継続支援B)
佐濃ホーム(グループホーム)
丸山ホーム(グループホーム)
〒629-3557 久美浜町竹藤22-1
TEL 84-0759 FAX 84-0858

新年のごあいさつ

笑顔と思いやりの心を大切に

かがやきの杜は、1月6日（金）に初出勤となり、利用者や職員に対する年頭のあいさつをしました。今年は、雪もなく足元の良いなかでのお正月となり、地域のみなさまにはご家族おそろいで、健やかな新年をお迎えのこととお喜び申しあげます。

昨年中は、10月30日に開催しました「ふれあいフェスタ」をはじめとして、数々の取組みや日頃の運営に格別のご支援をいただきまして、心からお礼を申しあげます。

さて、かがやきの杜は、1月6日（金）に初出勤となり、利用者や職員に対する年頭のあいさつをしました。あいさつの中で強調して話したのは、「かがやきの杜を笑顔と思いやりの心があふれる施設にしよう」ということです。笑顔ひとつで人を和ませることができ、思いやりの心で人を幸せにすることができます。そんな、かがやきの杜の一年の目標にしたいと思つています。

かがやきの杜が、地域のみなさまに喜んでいただけ るような施設となるように、地域をはじめ行政や関係機関との連携を進める所存です。

最後になりましたが、地域のみなさまのますますのご多幸を祈念するとともに、本年も、なお一層のご支援ご協力をお願いして、新年のごあいさつとさせていただきます。

社会福祉法人 久美の浜福祉会
理事長 奥田圭介



ライオンズクラブクリスマス会

12月28日（水）にクリスマス会が行われました。この行事は、久美浜ライオンズクラブ様からクリスマスケーキをいただき、クリスマス会を祝うという毎年の恒例行事となっています。今回は会長の谷口雅昭様、板垣久彌様、田中の贈呈式を行いました。仲間自治会長宮田壮延氏から「ケーキをありがとうございます」とお礼の言葉を述べ、みんなで乾杯してケーキをおいしくいただきました。その後、この日のために練習した「赤鼻のトナカイ」を手話で、「ありがとうございます」を合唱し、楽しいひとときを過ごしました。

最後に奥田理事長より、今年もクリスマス会がとりおこなわれたことに感謝の言葉を述べ、会を終えました。

きょうされん全国大会in熊本に参加して

つばさ支援員 谷口靖

きょうされん(1997年に、共同作業所全国連絡会=共作連としてスタート)の第39回目の全国大会が、震災を受けた熊本で開催されました。一時は取止めや開催地の変更も検討されたようですが、熊本県やその近隣・各地の福祉法人、団体、家族会の願いが通じ予定とおり10月22日（土）23日（日）、熊本県立劇場・熊本学院大学を会場として開催されました。

今回この全国大会には、仲間代表として食品班の山崎久嗣氏と生活支援員の谷口靖の2名で参加させていただきました。JR在来線と新幹線を乗り継ぎ熊本入りし、県立劇場へ。大きなホールが3つあり迷子になりそうな会場には、全国から集まった仲間、支援員・関係者の多さに驚きました。

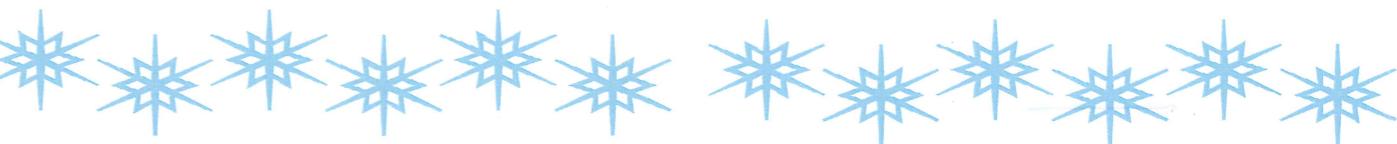
会場入りすると熊本の仲間・職員がステージ上で歓迎セレモニーで迎えてくれました。半年前に震災を経験された仲間・職員、関係者がその震災のつらさを吹き飛ばすかのようなエネルギーのセレモニーに込みあげる思いがわきました。

障害のある方々は、普段の生活の中でも弱い立場ですが、震災などの状況の中では、それ以上の弱い立場となっていることの報告がされていました。このことは、以前の阪神大震災、東日本大震災でも明らかになっていましたが、復興対策はハード面が表に出で、ソフト面は中々表面化しないものと痛感しました。

しかし、「きょうされん」は震災直後からいち早く動き、また全国の加入法人・団体の有志も数日内に現地入りし仲間の支援に奮闘されました。

分科会に参加して、今回のスローガン「障害者権利条約をこの国の文化に」を再度勉強させてもらいました。障害のある方々がよりよく生活できること。そのためには、事業を通じて地域の皆様のご理解とご協力が欠かせないものと再認識させていただきました。

今回、参加させていただき「井の中の蛙」にならず、常に広い世界を見ながら、自分にできる支援を追求していくことを地域の皆様と一緒に活動して行こうと思います。



家族会一斉リサイクル

11月5日（土）に、田村・佐濃地区、12月3日（土）には、一・二区・海部・川上地区を対象に一斉リサイクルを行いました。

今回につきましても地域の皆様には格別のご協力をいただき、無事回収を終えることができました。

田村・佐濃地区におきましては久しぶりの回収にかかわらず、多くの資源を提供いただきました。

一・二区・海部・川上地区も雨や雪も降らず天気に恵まれ回収することができました。地域のみなさんへ心からお礼申し上げます。

今後につきましても障害者福祉への一層のご理解、一斉リサイクル活動へのご協力をよろしくお願ひいたします。

あとがき

今年の年末年始はいつもにない穏やかな天気でした。買い物・大掃除など寒いと、なかなかはかられない用事が、家族の協力もあり、思いのほかこなすことができました。

天候だけで気持ちに余裕ができ、人の気持ちは変わるものだなと思いました。

人に対しても穏やかな天気（気持ち）を持って1年を過ごそうと思われる年末年始でした。

業いの杜踊りを行なった。多くの人達が参加しました。では、仲間による手話や事業所・企業の餅約千個の貢献がありました。久美浜中学校吹奏楽部による演奏・ダンスをしていただきました。久美浜高等学校吹奏楽部によ

いの杜の販賣や衣類販賣など、野類地販外・陶器方や事業所から提供をいたしました。ゲートントでは、うどんや焼きそばも大勢の人々が並び、そして魚釣りゲーミングコーンもたくさんありました。また、久美浜中学校吹奏楽部によ

いの杜で製造する豆腐や豆乳プリンなどをかりんとう、手漉き和紙と合同開催で開催されました。

今年は佐濃自治会講演会、お通安の座、ス濃いの杜にがんじクローバー協会、おれんじくろーばー協会、佐濃認知症サルビア講会、佐濃市協会、交渉会、佐濃朝佐のデ

きの杜にがんじくろーばー協会、おれんじくろーばー協会、交渉会、佐濃朝佐のデ



2016ふれあいフェスタを開催しました

今年のテーマは「みんなの笑顔を!」と今年のことで、かがやきの杜にたくさんの笑顔が集まりました。この日のために実行委員会8団体、後援会15団体、バザール物品値付け、前々日、前日、当日のボランティアとして187名の方々の協力をいただき、ありがとうございました。また、町民の皆様には数多くのバザール用品提供のご協力をいただきました。収益金は施設運営資金として大切に使わせて頂きました。障害のある人たちが地域の一員として、生まれ育ったところで当たり前の暮らしを続けられるよう、私たちは引き続き取り組みを続けていきたいと思います。今後ともご理解・ご支援をお願いします。



仲間のスポーツ交流会「優勝」



9月23日(金)瑞穂町にて「きょうされん京都支部第25回なかまのスポーツ交流会」が行われました。今年度は卓球バレーのみに参加して競技に挑みました。

初戦から強豪なチームと激しい戦いを繰り広げ、徐々に調子が始め見事「優勝」を勝ち取ることができました。昼休みに練習時間を設け取り組んだ成果が優勝という結果に表れて仲間・職員一同共に喜びを噛みしめました。



きょうされん第40次国会請願署名・募金運動

きょうされんの第40次国会請願署名・募金運動が始まりました。

スローガンは、「あたりまえに働きえらべるくらしを!」～障害者権利条約を地域のすみずみに～です。

かがやきの杜では、1月7日(土)に仲間・職員で「地域署名募金活動」を行い、第40次国会請願署名募金活動のスタートを切りました!

少し寒い中でしたが、天候にも恵まれ午前9時過ぎから約2時間という短い時間にも関わらずたくさんの署名と募金のご協力をいただきました。

(署名151筆・募金14,900円) ありがとうございました。

【請願項目】

- ①障害を補うための支援の自己負担はゼロに! 年金などの所得保障の拡充をしてください!
- ②介護保険優先原則を廃止、誰もが安心して利用できる介護保障制度を実現してください!
- ③報酬日払い方式と常勤換算方式の見直し、本体報酬を増額してください!
- ④地域活動支援センター、安定運営できる予算確保のための措置を講してください!
- ⑤障害関連予算配分率を先進国平均レベルまで引き上げてください!

という5つの請願項目を掲げ、全国で運動の取り組みを進めています。

昨年の第39次国会請願署名では、5510筆の署名と約23万円の募金の協力をいただきました。本年の第40次国会請願署名はたくさんの地域にて展開していきますので、どうか趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

〈取組み期間〉3月31日(金)までです。

1人でも多くの方の署名をいただきたいと思います。よろしくお願ひします。



『こうりゅう小学校体験学習』

12月20日(火)京丹後市立こうりゅう小学校4年生25名の生徒さんが来所してくれました。雑誌や牛乳パック、アルミ缶など、家から集めたリサイクル物品を持参し、リサイクルの分別を体験した後、さをり織り、紙漉き、缶潰し、下請けなどに分かれ仲間と一緒にわざかな時間でしたが作業体験を行いました。

交流会では練習してきた3曲を披露してくれましたが、最後の曲では、歌詞の一部を『かがやきの杜』と変えて歌うなど、楽しい曲にみんなの元気を貢いました。